2次評価対象

	コード		名	称	区分	コード		名		称
					会計款	01	一般会計			
事業名	事業名 68 自治基本条例推進経費					02	2 総務費			
					項	01	総務管理費			
基本	61	市内外から多様な主体を受け入れる、開かれたまちをつく				06	企画費			
施策	01	אפטימזקעונוון	マスト かんさい ノイル	る、用かれいこようでして	細目	細目 121 調査企画推進事務経費				
行革ス	大綱の!	重点事項番号			細々目	52	自治基本条例推進経費			
担当部	细力	コード	40	0100	担当者氏名	田	生体部	連絡先	22	- 9620
변크파	沐石	名称	企画財政	È画財政部企画課 ·		風隼 徳彰		建裕兀	(内線)	4111

事務事業の概要(Plan)

対象	と(誰を	、何を)	市民、	各種団体、議会	会、市 ※対象件数	
成果(どうする) 市民が主体となっ					活動が推進される。	
根拠法令・要綱等 伊賀市自治基				市自治基本条例	N	
開始年 終了年		^ℤ 成 16 ^ℤ 成	年度 年度	関連事業		
H23 事 業 内	18日 地区部	に議会全員 説明会を開	員懇談: 催し、	会で説明後、平 市民意見の集約	列推進研究会を開催し、一部改正案の検討を行った後、庁内協議を経て、平成2 成24年1月5日から17日まで2回目のパブリックコメント、住民自治協議会を3 約に努めた。しかし、更に市民の意見を聴取するよう議会からの意見があり、平 見交換会を市内5箇所で開催し、一部改正条例案の検討を行った。	対象とした
社会情変化		平成23年	度に自	自治組織のあり	方が見直された。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

_		
1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模·構造	
4	総事業費	千円

里落	体制 (一施設(の建設」「施設の管理・連宮」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	[]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円]
4	市内の 類似施設			

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名	単位		実績	漬値		目標値		
活	旧保口	平位		H22		H23	H24	H25	
動	庁内勉強会の開催(伊賀市自治基本条例		目標	2	目標	3	2	4	
指	推進研究会含む)		実績	1	実績	2	3	4	
標	出前講座等の市民等への条例説明会		目標	0	目標	0	6	6	
	山川神座寺の川氏寺への宋例武明云	쁘	実績	0	実績	0	٥	6	

	指標名	指標設定の考え方	単位		実	績値	目標値		
成	1617471	4	H22		H23		H24	H25	
	住民自治活動が活発であると回答し	住民自治活動の満足意識が高まる	%	目標	60.0	目標	65.0	65.0	65.0
	た市民の割合(まちづくりアンケート)	ことが、この制度の成果と考える。	70	実績	45.9	実績	47.0	65.0	03.0
標				目標		目標			
				実績		実績			

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
	古拉市坐井社 (A)		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
40.		直接事業費計(A)	153	192	1,029	462
投	Α	国庫支出金				
수	၅	県支出金				
	財源	地方債				
l î	内	その他				
•	訳	一般財源	153	192	1,029	462
		事業投入人件費(B)	0.5 人 3,600	1.0 人 7,200	1.0 人 7,200	0.5 人 3,600
	フルコスト (A)+(B)		3.753	7.392	8.229	4.062

事務事業の評価(Check)

_							
		判断の基準(該当項目に〇をつけ	てください)		備考欄(特記事項)		
		31】法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業					
	C.	62] 個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、の安全網(セーフティネット)を整備する事業					
	1 -	83] 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの も利益が及ぶ事業					
	[。 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは め、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事事					
		タ5】市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目 [
必		75 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消 第、情報提供、相談等を目的とした事業					
要性	[87] 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービス 事業		法律では実施の義務付けはされていないが、条 例(伊賀市自治基本条例)に改正規定がある。			
'-	[38】 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収	ができない事業	0			
	T.	39】市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ	情報発信することを目的とした事業				
	Ţ,	310] 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		0			
	[s	311] 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業					
	Н	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事					
	I C	512]【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判	·	0			
	1	市民、議会、行政がそれぞれの役割を果たし、分権型まちづくり					
	H	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響					
	lr,	313】【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	N / C V + X				
	"						
=	17	[1] 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向」	- が期待できる				
1月	_	917 予務争業の転続、足成及で失績を高めることで成末指標の同3 92] 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切で2		0			
性		927 金本心泉の日的を失現するために現在の事務事業の内容は超りで 93】サービス水準や対象を見直す余地がある。	りり、本本心泉に対して貝配及で同い。	0			
띁	_	10 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	17計画に関わるとしている場合 か	幸 年 1			
進出					たのチ順を吹せる水工作業を進め、立代00年度		
成		を全国では、1980年は1980年により、1980年によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに			その手順を踏まえ改正作業を進め、平成23年度		
度		***【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	内で改正案は作成できたが、議会上	住に王り/	よかつに。		
		か1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。					
効	ו	カ2】基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】					
平	[カ3】受益者負担を求めることができる事業である。					
1±	ľ	か4】全体コストにおける負担構成は適正である。					
		カ5】コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコス	いを削減する余地がある。				
	1 -	William William Control of the Contr					

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

	政策調整会議等において、庁内合意を得た後、条例の周知も兼ね、地区懇談会にて説明を行う。 また、議会への上程については、現時点では12月議会を予定している。
-5142 5105	【状況】 <u>計画のとおり進んでいない</u> 【詳細】 平成23年9月議会で一部改正条例の上程を目指していたが、市民の意見を十分踏まえるよう議会からの意見もあり、再度、パブリックコメントを実施するととも に、議会への説明、地区説明会を開催し、更に意見聴取の機会を設けるよう意見もあったため、住民自治協議会を対象とした意見交換会を平成24年3月に実施した。

担当課長氏名	藤山	善之							
	【方向性】	現状維持							
事業の方向性									
	一部改正条例を平成24年6月議会へ上程する予定であり、議決後は市民等への普及を図るため、条例冊子等を作成し、配布するとともに、市職員への周知も図るため、研修会を開催する予定である。								
現時点における	おける 市民等へ自治基本条例の普及を更に進める必要がある。また、今回の条例改正後、合併後10年(平成27年度)を踏まえ、次回の条例改正に向けての研究、議論等を始める必要がある。								
課題、その他に対する改善策									
対する政告录 目 治基本条例を中氏等へ音及させるにめ、ガかりやすい条例而子の作成・配布、出前講座の美施、職員に対しては条例が修会を開催する。 (いつまでに、 また、次回の条例見直しや条例の運用及び普及を図るため、市民等で構成する自治基本条例推進会議を平成24年度中に設置する。 何を、どうする)									

2次評価対象

	コード		名	称	区分	コード		名		称	
		地域に関東教奴弗/ノオがけた百士へ川明媒は助			会計款	01	一般会計				
事業名	事業名 71 地域振興事務経費(しまがはら夏まつり開催補助金)						総務費				
						01	総務管理費				
基本	61	市内外から多	け入れる、開かれたま		06	企画費					
施策	01	ちをつくる			細目	122	地域振興経費				
行革ス	大綱の]	重点事項番号 6·7			細々目	01	地域振興事	務経費			
担当部	细力	コード 600100				谷	口順一	連絡先	59	- 2053	
원크라	林伯	名称	島ヶ原	支所振興課	担当者氏名			建耐兀	(内線)		61

事務事業の概要(Plan)

対象	》(誰	を、何を	:)	市民、	来場者		※対象件数		
成	成果(どうする) 夏まつりを開催することに、 る。					けるこ	ことにより、子どもから高齢者まで交流する機会ができ、世代間、住民相互の交流が出来		
根拠法令・要綱等									
	開始年度 平成 4 年度 終了年度 平成 年度					業			
H23 事 業 内	H23 上まがはら夏まつり実行委員会に開催補助金を交付し支援した。 平成23年8月第1土曜日に開催した。 平成23年8月第1土曜日に開催した。 「島ヶ下が見ますづくり協議会」が中心となり住民主体で実行委員会を組織し運営を行った。 こってがります フェッド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

社会情勢の 変化等

<u> </u>		次是的1 是两子来1000 m200
1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模・構造	
4	総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

理		の建設」「他設の官理・連呂」のみ記人)		
	運営主体			
1	委託先	[]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千F	ŋ
4	市内の 類似施設			

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

		指標名	単位	実績値				目標値		
活	1111宋12	平位		H22	H23		H23 H24			
	15h	企画会議·実行委員会会議		目標	6	目標	6	6	6	
		正四云硪 天门安貝云云硪		実績	6	実績	6			
	標			目標		目標				
				実績		実績			ĺ	

	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値				目標値	
成	1617572	111未以足の考え力	<u> </u>		H22		H23	H24	H25
果	しまがはら夏まつり来場者数	来場者数を増やすことが、地域振興	人	目標	4,000	目標	4,000	4.500	4,500
指	しまかはり复まりり木場有数	の状況を示す指標となる。		実績	4,500	実績	4,000	4,300	
標				目標		目標			
				実績		実績			

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
		直接事業費計(A)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
47.			2,381	2,178	2,150	2,150
投	Α	国庫支出金				
슥	၅ ရ	県 支 出 金				
	財源	地方債				
ŀ	内	その他				
•	訳	一般財源	2,381	2,178	2,150	2,150
		事業投入人件費(B)	0.1 人 720	0.1 人 720	0.1 人 720	0.1 人 720
		フルコスト(A)+(B)	3,101	2,898	2,870	2,870

事務事業の評価(Check)

		네베르스 바 2차 /드뉴 VI -로 티 (- 스 뉴 -) [/ Lt -))		W + + 188 / 44 = 7 + + - = 7
	F 30 4 T	判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
	(必1)	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
	[必2]	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	[珍3]	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業		
	[必4]	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
٠.	[必6]	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		実施団体である実行委員会は住民自治協議会を中心として組織され、世代を超えて企画、運営
必要性	[必7]	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する 事業		がされていることから、将来の町づくりの担い手 となる若い人の育成にも役立っている。郷土意
ΙΞ	【必8】	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	0	識及び協調性の高揚を図るためにも、今後も支
	[必9]	市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		援、育成が求められている。
		事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	[必11]	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
		事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	[於12]	【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	(必4) 市民にとっての必要性は	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有	【有1】	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		毎年、安定した参加(個人、団体)があり、地域
効	【有2】	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	0	住民の夏まつりとして定着してきている。さらに
性	【有3】	サービス水準や対象を見直す余地がある。		多くの参加が得られるよう検討が必要
達成度		予算の過報の有無 無	善策】	
	【効1】	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	0	
効率		基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		花火打ち上げ事業については、寄付金を募り実
半性	【効3】	受益者負担を求めることができる事業である。		施している。参加者が不特定多数であり受益者
生		全体コストにおける負担構成は適正である。		- 負担を求めることはそぐわない事業である。
		コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		1

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

昨年及の計	御桁米に巻 プス以音束への取り起か状況
A7 35 16	地域の活力づくりのためには、まつりは有効な手段であり、当事業は一定の効果を収めている。今後も補助を継続し、内容については精査し、より魅力あるまつりとなるようにする。
昨年度の	【状況】 <mark>計画のとおり進んでいる</mark> 【詳細】
取組状況	まつりの内容を充実させるため、実行委員会及び企画運営会議等を実施した。 約4,000人の来場者があった。

担当課長氏名	森田	克義		
	【方向性】		現状維持	
事業の方向性	【理由】 地域住民は勿論 大をめざす。	のこと、誰もが気	軽に参加できるような場をつくると共に	地域の活性化に結びつけるため、PR活動の展開に努め、尚一層、来訪者の地
現時点における 課題、その他	夏まつりのメイン	でもある打ち上げ	ず花火の課題と、企画内容を充実させる	•
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、 何を、どうする)	温泉施設で開催	しているので、地	域住民は勿論のこと、観光客を誘導し、	来場者数が増加するよう検討する。

2次評価対象

	コード		名	称	区分	コード		名		称
						01	一般会計			
事業名	73	地域振興事	務経費(大山田ふるさと夏まつり助成金)		款	02	総務費			
					項	01	総務管理費			
基本	61	61 市内外から多様な主体を受け入れる、開かれたまちをつくる		ナカルムこ々ぜかナ <i>けナ</i> 巫は1ね7 明ムねょ ナナナのノフ						
施策	01	11366.04464111	*な工体で支げ入	いる。まないないによりでして	る 細目	122	地域振興経	費		
行革大綱の重点事項番号			7	1	細々目	01	地域振興事	務経費		
扣水如	钾々	コード		700100		西	口 敏之	連絡先	47 -	1150
担当部	沐石	名称	大山E	田支所振興課	担当者氏名		口 拟之	建耐兀	(内線)	

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)		:)	大山田	3ふるさと夏まつ	つり実行委員会	※対象件数
成果(どうする)					つり実行委員会が主催する事業の開 ふるさと音頭)の伝承が図れる。	催。大山田地域の活性化及び伝統(S53から開催)
根拠法令・要綱等			支所関	月 係補助金等交	を付要綱	
開始年度 終了年度		53	年度 年度	関連事業		
事業内容	日時:平成	田 ふる 田 せ せ 田 ふる 23年 り 太 鼓	るさと夏 せらぎ運 るさと夏 8月15 、ふるさ	, まつり 動公園 まつり実行委員会 日(月)	会 体出店、創作花火等	
社会情勢 変化等						

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

	101 TH 1 20 HA	
1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模・構造	
4	総事業費	千円

連盟	体制 (施設(D建設」「施設の管理・運営」のみ記入)		
	運営主体			
1	(委託先)]]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	
4	市内の 類似施設			

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名	単位		実績	責値		目標値		
活	旧保口	平位		H22		H23	H24	H25	
動 指 標	実行委員会参画団体	団体	目標	17	目標	17	17	17	
	关1] 安貝云多回凹体	平四	実績	17	実績	17	17		
	実行委員会開催回数		目標	7	目標	3	2	2	
	天1]女貝女 正凹奴		実績	3	実績	3	3	3	

	指標名	指標設定の考え方	単位	, 実績値				目標値	
成	1417474	旧派政定の与たり		H22		H23		H24	H25
果	来場者数	来場者数により事業のPRの成否を	1	目標	6,000	目標	6,000	6.000	6.000
指	木场白蚁 	見ることができる	_ ^	実績	6,300	実績	6,000	0,000	6,000
標				目標		目標			
				実績		実績			

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
		直接事業費計(A)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
40.		但按争未其訂(A)	2,082	1,880	1,880	1,880
投	Α	国庫支出金				
수	၅	県支出金				
	財源	地方債				
ŀ	内	その他	0			
•	訳	一般財源	2,082	1,880	1,880	1,880
		事業投入人件費(B)	0.1 人 720	0.1 人 720	0.1 人 720	0.1 人 720
		フルコスト (A)+(B)	2.802	2,600	2.600	2,600

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備者欄(特記事項)
	【必1】法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		佣与惧(付配手項)
	[必2] 個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	【必3】特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業		
	【必4】市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		四和50ケルミ中女ととでいることと言さる!
ıi'X.	【必6】 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		昭和53年から実施されているふるさと夏まつりは、地域住民には8月15日のお盆の帰省者を迎えるとともに地域の賑わい、活性を目指すイ
必要性	【必7】 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する 事業		プルスのこともに一地域の脈がい、活性を目指91 ベントとして夏の風物詩に認知されている。実行 委員会は、大山田地域の各種団体で構成され、
'-	【必8】 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	0	地域住民が参画し、住民の活力の創出と結束
	【必9】 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		の機会となっている。
	【必10】事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	[必11] 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	/	大山田ふるさと夏まつりは、お盆の帰省者
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		のみならず、地元団体が作成する創作花火
	[&12]【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	10	が目玉の納涼花火大会として34回を迎え、
	*		各団体から集まった実行委員が資金を寄
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		せ、寄付金は住民及び企業からおよそ200
	【必13】【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		万円である。
	- FOG PILLENGT WEALING LIMITED		
뒴	【有1】事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
葝	【有2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	0	
性	【有3】サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達	【達1】 当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改	善策】	
成	予算の総裁の方無 毎		
度	【達2】「予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
Ë	【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
効	[効2] 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 [事業名]		
率	【効3】受益者負担を求めることができる事業である。		
性	【効4】全体コストにおける負担構成は適正である。		
			-
	【効5】コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

中午及の日	一個和木に金ンへ以音水、ツルツにが火ル
改善策	収入縮小の中でも例年同様の成果が得られるよう内容を工夫し、平成23年度も夏まつりを開催する。
昨年度の	【状況】 <u>計画のとおり進んでいる</u> 【詳細】
取組状況	実行委員会の構成団体数に変わりはなかったが、実行委員会で概ね実施することができた。

担当課長氏名	西口	敏之		
	【方向性】		現状維持	
事業の方向性	【 理由】 大山田地域の各	-種団体で構成さク	れる実行委員会による主体的な開催を	支援し、地域住民の参画による地域の活性化を図っていく。
		すべて住民及びためには一層のエ		†額が伸び悩んでいる中、市補助金も平成23年度から縮小しているため、引き続
	また、収入縮小の		り広範にするとともに住民自治協議会を もの成果が得られるよう内容を工夫し、 ¹	中心に、それぞれが分担して企業協賛の依頼を行う。 平成24年度も夏まつりを開催する。

2次評価対象

	コード		名	称	Z	区分	コード		名	;	称
						信金	01	一般会計			
事業名	74	74 地域振興事	城振興事務経費		1	款	02	総務費			
						項	01	総務管理費			
基本	本 61 市内外から多様な主体を受け入れる、開かれたまちをつくる			7	目	06	企画費				
施策	01	11 同内がから多様な主体を支げ入れる、別がれたこようをうべる		細	田目	122	地域振興経	費			
行革プ	行革大綱の重点事項番号			細	々目	01	地域振興事	務経費			
担当部	細々	750100		担当者	****		岡宏	連絡先	52 -	1112	
변크라	味力	名称	名称 青山支所振興課		원크1	日本石	大岡 宏		建耐兀	(内線)	205

事務事業の概要(Plan)

対	象(誰	を、何を)	青山艺	支所管内及び居	引辺地域の住民 ※対象件数
成	大果(と	ごうする)	夏まつができ		り、地域の活性化と地域づくりに繋がるとともに子どもから高齢者に至る世代間交流の場
根	拠法令	∂·要綱等	•		
開始	年度	平成	年度	関連事業	
終了	年度	平成	年度	因连手未	
H23 事 業 内	第2	27回青山 こ寄与する 、事業を	5関係機関	€行委員会(地址 ・団体(伊賀市	域づくりに寄与する関係機関・団体が組織)に補助金として130千円を支出した。地域振 ・JA伊賀南部・青山文化サークル連絡協議会・伊賀市商工会青山支部)が実行委員を組

社会情勢の 変化等 商工会・JA伊賀南部・青山文化サークル連絡協議会から負担金が納入されており、市としても補助金として支出している が、負担金的要素の大きい補助金支出となっている。

整備内容 (「施設の建設」「整備事業」のみ記入

1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模·構造	
4	総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

里语		の建設」「他設の官理・連名」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	[]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円]
4	市内の 類似施設			

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名	単位		実績	責値		目相	票値
活	111朱七	平位		H22		H23	H24	H25
動	代表者会議・実行委員会の会議開催	回	目標	4	目標	4	5	5
指	八次行云磁・天1]安貝云の云磁用性	ш	実績	4	実績	5	3	
標			目標		目標			
			実績		実績			

	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値				目標値	
成	1417474				H22		H23	H24	H25
果	夏まつり来場者	来場者が地域振興の指標となる人	1	目標	3,000	目標	目標 3,000	1 3 0001	3,000
指	支ま フッ木場白 		^	実績	3,000	実績	3,000		
標				目標		目標			
				実績		実績			

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
	直接事業費計(A)		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
40.		但按争未貸訂(A)	130	130	130	130
投	Α	国庫支出金				
슥	၅	県支出金				
	財源	地方債				
l î	内	その他				
'	訳	一般財源	130	130	130	130
	事業投入人件費(B)		0.1 人 720	0.1 人 720	0.4 人 2,880	0.1 人 720
		フルコスト (A)+(B)	850	850	3,010	850

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
	【必1】法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		调与惧(付配争填)
	「必な (未例は除く) と 表記が 製物 1754 といる事業 「必2」 個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活 の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	【必3】特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
必要性	「必6」市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	[必7] 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する 事業		
	【必8】 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	0	
	【必9】 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
	【Ø10】事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	【め11】国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	[&12]【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	「必13」【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
	はから「「一名」に、おきの内容及の中間を田」		
有			
ᄶ	【有2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。		
性	[有3] サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達	【達1】 当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改	華等】	
成	予算の繰越の有無	- A	
度	【達2】「子の練越がある場合、繰越の種別】		
4.	【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	0	
	「Man 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
効	【効2】 本本心味の中で対似・主後する事務争来がある。		
率	【効3】受益者負担を求めることができる事業である。		
1±	【効4】全体コストにおける負担構成は適正である。		
	【効5】コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		
	,		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	来場者に楽しんでもらえるような企画を立案実施したい				
昨年度の	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】				
取組状況	ソーラン踊りのほか、ヒップホップダンス、盆踊り、和太鼓演奏などの企画により会場が盛り上がった。				

担当課長氏名	牧野	賴悌					
	【方向性】		現状維持				
事業の方向性	【理由】 今年で28回目をむかえ、市民の夏まつりとして定着している。今後も青山地域の活力あるまちづくりのため実施する。						
現時点における課題、その他	実行委員のメンバーが固定化しているため、新企画の取り組みが難しい課題がある。商工会青年部の意見を取り入れることも考える必要がある。						
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、 何を、どうする)	実行委員会での新企画検討など、今年度内に工夫したい。						